

朝読書と学校図書館の取組によって読書習慣を高めた事例

学校名 草加市立栄中学校

所在地 埼玉県草加市松原3丁目7番地1号

電話 048-941-2587

1 本校の概要

広い校地と多くの木々や草花等、大変恵まれた自然環境と学習環境の中で生徒はのびのびと生活している。学習・部活動に加え、運動会や合唱コンクールのような行事への取組も盛んである。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ a 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ c 学校司書を活用した取組

(2) 実践の概要

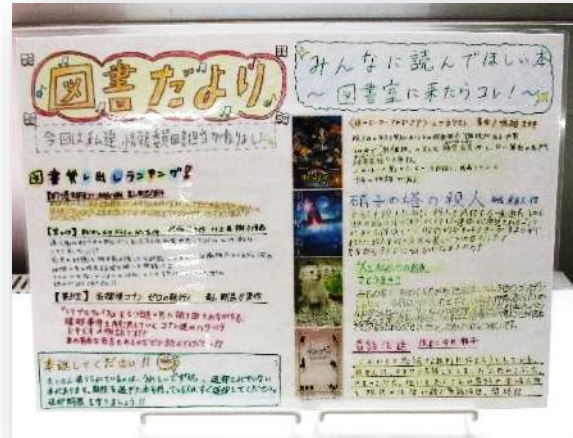
ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

- ・ 毎週火曜日と金曜日の朝 8:35 から 8:50 まで、朝読書の時間を設けている。
- ・ 貸出冊数アップのため、「秋の読書週間」において、本を借りた生徒に図書館からのしおりをプレゼントするイベントを行った。



イ 学校司書を活用した取組

- ・ 教職員と新たな学校司書との関係が構築され、生徒の利用や教職員向けの図書貸出し・リクエスト募集が円滑に行われている。
- ・ 後述の環境整備に、学校司書が主体的に取り組んでいる。
- ・ 目に留まりやすいカウンターや入口付近のテーブルには、季節や行事、流行等に応じたディスプレイを施している。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

朝読書の時間については、全学級において静かに読書に親しむことができていることから、学校での読書習慣は身に付いていると言える。

イ 学校司書を活用した取組

生徒・教職員と学校司書の間に信頼関係が築かれ、開館日の昼休みに学校司書と生徒が本について楽しそうに語り合う姿が見られる。

ウ 学校図書館の環境整備の工夫

季節感のあるレイアウトと新着図書のPRにより、温かく利用しやすい雰囲気醸成され、多くの生徒や教職員が利用している。

(2) 課題

ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

利用する生徒が固定化されており、広い校舎において、学校図書館から遠い学級の生徒の利用が比較的少ない状況である。

イ 学校司書を活用した取組

学校司書が1年目であり、司書教諭の継続的支援が必要であると思われる。

(3) おわりに

本校は図書委員会を持たず、学校図書館運営に関わる教職員・生徒の数に課題がある。学校司書と司書教諭の連携のもと、生徒が読書に興味を持って取り組めるような方策を今後とも考え、実践していく。